

明日のビジョンを共有しよう

進学情報誌
フューチャー
2025 夏号

校舎紹介

こうゆうかん
桶川西口校・桶川東口校・北浦和校

特集

2025 合格体験談

夏の特別プログラム

正しい
学習習慣
学力向上のススメ

Visual
Vision



インタビュー
常務執行役員

大谷 晋示

大妻嵐山中学校
大妻嵐山高等学校
榎本 克哉 校長

FUTURE

特別対談



「らしくあれ」という創立者・大妻コタカの言葉を継承し、その人らしさを持った次世代で活躍する人材の育成に情熱を注ぐ、大妻嵐山中学校・高等学校。「学び」「世界」「社会」「仲間」をキーワードに社会に貢献できる力を伸ばし、様々な成果をあげています。そんな同校を常務執行役員の大谷晋示が訪問。榎本克哉校長にインタビューを行いました。

3つのTODOを实践

大谷…まずは貴校の特徴を教えてください。
榎本…本校の目指すべき生徒像は、「社会に貢献できる自立した女性」であり、そのために学校として3つのTODOを实践しています。

1つ目が大妻スピリッツによる上質な学校生活（Quality of School Life）で、QOSLという言葉で表現しています。上質な学校生活を実現するために、安心・安全な学習環境・生活環境の提供に努めています。精神面を育てる部分として、学祖である大妻コタカ先生の「恥を知れ」という言葉を校訓としています。これは他人に向けたものではなく、自分自身を戒める言葉であり、自分を律し相手に対するレスポンスの気持ちを持って接してほしいというこの現れです。中学においては礼法や着付け、高校では、マナーのスキルアップ講習という形で取り組んでいます。

2つ目は、学校社会貢献活動（School Social Responsibility）、こちらはSSRになります。教育は、学校という組織で独占する時代ではありません。地域とのコラボレーションによって新しい価値を創出する学校を目指すことが大切になってきます。分かりやすく言えば、社



大妻嵐山中学校
大妻嵐山高等学校

榎本克哉校長

会貢献です。今の大学入試は年内入試が多く、その中心となっているのが総合型選抜ですが、そこで求められるのは、中学や高校で何をしてきたかということです。そこで活きてくるのが社会貢献だと考えています。そのため、学校での課外活動を重視しています。

3つ目のTODDは大妻リベラルアーツ（Otsuma Global Science）、つまりOGSです。これは教養というよりも探究的な意味合いとしてリベラルアーツを使っていますが、そのベースとなる2本柱に「サイエンス教育」と「グローバル教育」を位置付けています。サイエンス教育では、国蝶オオムラサキの育成をはじめとするサイエンス（理科）教育に力を入れ、驚きや納得感が得られる、本物に触れる実験・授業を充実させ、論理的思考力だけでなく物事を正しく捉える力や想像力を養っています。その成果として2021年の第65回日本学生科学賞で文部科学大臣賞を受賞し、国際学生科学技術フェア（ISEF）にも日本代表として出場した生徒や、総合型選抜型入試で国立大学のサイエンス系学部に進学した生徒もいます。

地域と様々な活動で交流。 体育祭も全力で取り組む

大谷…中高一貫の魅力はどこにあるとお考えでしょうか。

榎本…多くの中高一貫校では、独自のカリキュラムで学習内容を先取りし、大学入試に備えることをメリットとして挙げられていますが、本校は先取りではなく深掘りに力を入れています。そのために個別最適化で定着を重視し、高校入試がないという時

間的余裕を課外活動等に活用し、総合型選抜型入試で成果をあげています。

また、本校は中高一貫校であると同時に大学の附属校でもあります。その特性を活かして大妻女子大学への進学を希望する生徒は、大学の授業をオンラインで受講でき、進学後には大学の単位として認定される制度も用意しています。

大谷…校長になられたときにまず、力を入れたことは何でしょうか。

榎本…教頭として3年が過ぎた頃、たまたま近くを散歩している地元の方とお話をする機会がありました。そのときに言われたのが「大妻といえばお嬢様の学校のイメージが強く、敷居が高く感じられる」ということでした。そのときに痛感したのは、大妻嵐山として品格を保ちながらも、地域に開かれた学校でなければならぬ、ということでした。そこで各地に出向き、受験生応援プロジェクトという進路講演会を始めました。本格的に実施して3年目ほどですが、自分たちの教育資源を地域に還元できていることを実感しています。

また、嵐山町にある県立嵐山史跡の博物館と当校の書道部・美術部がコラボして御朱印ならぬ御城印を作り、つい先日新聞などで紹介されました。博物館内の敷地内には鎌倉時代に武蔵武士の畠山重忠が居住していた山城があったのですが、それをアピールするために御城印を提案・販売するようになり、予想以上にヒットしています。

みつばちプロジェクト（養蜂）は、2022年4月から有志の生徒10名ほどでスタートしました。本物に触れる体験や学び、さらには採れたはちみつで地域貢献や社会貢献に繋げる取り組みとなつていきます。

大谷…体育祭などの学校行事は、白熱しますか。

榎本…体育祭は、中高の枠を取り払い、様々な競技を行うのですが、みんな一生懸命です。以前は熱くなること自体を恥ずかしがる風潮がありました。そこで「ここは大妻嵐山です。照れるのはやめましょう」と呼びかけました。本校の体育祭では、3つの全力を出そうと言っています。全力で本気を出し、全力で楽しみ、全力で応援する。そういった想いが届き、競技では勝ったときも負けたときも涙を流す生徒がたくさんいます。

総合型入試と一般入試対策で独自のプログラムを実施

大谷…大学進学についてはどのような取り組みを行っていますか。

榎本…先ほど申し上げたように年内入試がスタンダードになり、総合型入試に対応できる力を養うプログラムを実施し、志望理由書や小論文の作成力、プレゼンテーション能力を磨いています。ただ特別進学クラスは一般入試で受験する生徒も大勢いますので、去年から夏休みに特進合宿を行い、想定以上の生徒が集まりました。

大谷…中学ではどのような学習に力を入れていますか。

榎本…やはりサイエンス教育とグローバル教育ですね。サイエンス発表会があり、中1は



常務執行役員
大谷晋示

オムラサキの生育を観察します。また、地学実習で長瀬や秩父を訪れて、地層などを実際に見てその内容を発表しています。イングリッシュフェスティバルでは、シヨートストーリーの英語劇や英語によるプレゼンテーションも行っています。

大谷…貴校を知っていただくために、どのようなイベントが予定されていますか。

榎本…ここ数年で始めたのが、授業見学です。土曜日に授業を公開し、大妻嵐山らしい授業の良さを知っていただくようにしています。それとは別に、8月にオープンスクールを予定しています。今年はたくさんの方でワークショップを開こうと思っています。様々なブースで本校の魅力を体感してもらえる内容になっています。

文化祭も生徒から様々なアイデアが寄せられ、来場者も増加しています。来場者目標を決めることで、それを達成するためにどうしたらいいかを生徒たちが真剣に考え、ユニークな企画もどんどん集まっています。

100年を超える女子教育の魅力が凝縮

大谷…共学の人気も高い傾向にあります。女子校の強みとは何でしょうか。

榎本…時代は、性別による固定観念や役割分担にとらわれず、誰もが平等に自由に生きられる社会を目指すジェンダーフリーにスポーツがあたっています。私は、このジェンダーフリーについて経験を通して学べるのは別学の学校だと思っています。例えばいろいろなイベントを行う際に、自分たちで重い荷物を持ち、時には脚立の上で作業をすることもあります。その中で、性別を超えて目の前の課題に挑む姿勢が身につけていくと思っています。共学には共学にはしかない魅力があ

るように、女子校には女子校ならではの素晴らしさがあります。

大谷…入試において、どういった対策をすればよいでしょうか。

榎本…中学は令和8年度入試で、「まなび力エキスパート入試」「大妻英語入試」「適性検査型入試」「大妻特待入試」「大妻一般入試」「帰国生入試」を行います。「まなび力エキスパート入試」は基礎学力に加えて、小学校で何をしてきたかを重視します。新設した「大妻英語入試」では、英語スピーチの試験等を行う予定です。高校入試は、基礎的な内容をしっかりマスターすることが重要です。出題傾向は過去問などで問題に慣れていた方がよいと思います。

これは受験生応援プロジェクトの際も伝えられているのですが「君たちは絶対勉強ができるようになります。できないと思ってるのは、皆さんが自分自身をできないと決めつけているだけで、できない自分を選んでいるのは自分です。今日からは勉強ができる自分を選んでください」ということ。勉強ができるようになる、必ず志望校に合格できると信じて頑張ってほしい。



SCHOOL DATA



大妻嵐山中学校・高等学校

〒355-0221 埼玉県比企郡嵐山町菅谷558

Tel.0493-62-2281

<https://www.otsuma-ranzan.ed.jp/>

交通

東武東上線「武蔵嵐山駅」西口から徒歩約13分
高崎線熊谷駅からスクールバス70分など
(6駅からスクールバスを運行)

クラブ活動

中学バレー部 高校バレー部 部タヌ部 バスケ部
トボール部 ハンドボール部 バドミントン部 ソフトテニス部
硬式テニス部 サッカー部 サイエンス部 美術部 書道部 コーラス部 吹奏楽部 ギター部 茶道部 華道部 キャリアスタディ同好会 文芸同好会 食物同好会 アドミッションスタッフ同好会

年間行事

入学式・新入生歓迎会・体育祭・芸術鑑賞会・礼法指導・論語講座・サマーキャンプ・イングリッシュキャンプ・グローバルキャンプ・海外研修学習合宿・英会話合宿・大妻祭・大妻女子大学見学会・イングリッシュフェスティバル・サイエンス発表会・卒業式など

沿革

1908(明治41)年 大妻コタカ、裁縫手芸の私塾を開設
1949(昭和24)年 大妻女子大学設置
1967(昭和42)年 嵐山女子高等学校開校
1995(平成7)年 大妻嵐山高等学校に改称
2003(平成15)年 大妻嵐山中学校開校